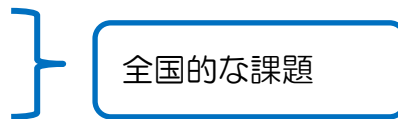


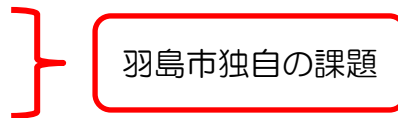
市内公共施設の「いま」と「これから」

1 自治体が直面する課題

- ・人口減少・少子化・高齢化
- ・厳しい財政状況
- ・公共施設等の老朽化



- ・新庁舎建設事業
- ・次期ゴミ処理施設の建設
- ・市民病院の経営の維持



2 羽島市の状況

(1) 人口の状況

		平成27年 (2015年)	令和27年 (2045年)	差
人 口		67,337人	56,846人	-10,491人
構 成 比	年少人口(15歳未満)	14.0%	11.5%	-2.5ポイント
	生産年齢人口(15歳~64歳)	60.7%	52.6%	-8.1ポイント
	老年人口(65歳以上)	25.3%	35.9%	+10.6ポイント

(2) 財政の見通し(令和3年度までの傾向)

【歳入】

- ・市税について消費税率の引上げや法人市民税率引下げの影響から減少見込み。

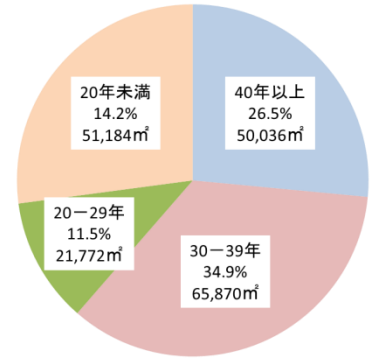
【歳出】

- ・人件費について職員数の増減や平均年齢の上昇に伴い増加見込み。
- ・普通建設事業費について新庁舎建設事業に伴い増加見込み。

3 公共施設の状況

(1) 市内公共施設の「いま」(平成26年度(2016年度)末現在)

- 全公共施設の延床面積：188,862㎡



築後40年以上経過の建物割合：全体の約26.5%



令和6年度(2024年度)予測では

築後40年以上経過の建物割合：全体の約60%

(2) 今後必要な更新費用の試算

今後必要となる更新費用		
	40年間	1年間
公共施設	約1235.4億円	約30.9億円
インフラ資産	約564.9億円	約14.1億円
計	約1800.3億円	約45.0億円



過去5年間の公共施設等への投資額の年平均	約31.1億円
----------------------	---------

(3) 総合管理計画策定後の取組

平成28年3月：総合管理計画の策定に伴い、存続を定めた施設の個別施設計画を策定(2016年)



更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うことで財政負担の軽減や平準化が狙い

令和2年度：個別施設計画を加味した総合管理計画の改定を行う予定。

(4) 市内公共施設の「これから」

- ① 老朽化した公共施設等の整理・合理化
- ② 施設使用料の減免措置の廃止、適正価格の検討・改定